

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位: 百万円)

団体名 登米市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
9,400	16,053	1,337	26,790

1. 一般会計等の財政状況

(単位: 百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	41,401	40,696	705	600	799	49,949	
曲袋地区は場整備事業特別会計	14	14	0	0	10	0	
土地取得特別会計	2	2	0	0	0	0	
一般会計等	41,266	40,561	705	601		49,949	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位: 百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	2,238	2,214	24	839	50	12,284	749	法適用企業
病院事業特別会計	8,582	10,082	1,450	1,604	165	4,794	3,118	法適用企業
老人保健施設事業特別会計	331	330	1	282	0	890	0	法適用企業
公共下水道事業特別会計	4,149	4,085	64	64	1,385	24,844	17,689	
農業集落排水事業特別会計	1,885	1,847	39	39	570	8,931	6,153	
浄化槽事業特別会計	179	171	8	8	57	322	317	
国民健康保険特別会計	10,477	9,958	519	519	862	0	0	
介護保険特別会計	5,859	5,766	93	91	960	4	0	
老人保健特別会計	8,834	8,672	162	162	963	0	0	
公営企業会計等 計				400		52,069	28,293	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位: 百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
宮城県市町村職員退職手当組合	21,135	18,550	2,584	2,584	3,800	0	0	
宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合	942	938	3	3	0	0	0	
宮城県市町村自治振興センター	136	131	5	5	0	0	0	
宮城県後期高齢者医療広域組合	1,203	1,155	48	48	0	0	0	
一部事務組合等 計				2,640		0	0	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位: 百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
登米市土地開発公社	0	17	11	0	0	13	0	0	
登米文化振興財団	2	98	71	0	0	0	0	0	
佐沼まちづくり	0	7	3	0	0	0	0	0	
とよま振興公社	1	14	9	0	0	0	0	0	
みやぎ東和開発公社	2	36	18	0	0	0	0	0	
なかた農業開発公社	0	34	16	0	0	0	0	0	
みなみかた町振興公社	1	30	26	0	0	0	0	0	
いしこし	2	22	35	0	0	0	0	0	
地方公社・第三セクター等 計			189	0	0	13	0	0	

- (注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		3,610	
減債基金		1,202	
その他充当可能基金		4,325	
充当可能基金計		9,136	

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	1.96	2.24	0.28	11.97	20.00	水道事業会計		40.0	
連結実質赤字比率		3.73		16.97	40.00	病院事業特別会計		19.7	
実質公債費比率	14.3	14.7	0.4	25.0	35.0	老人保健施設事業特別会計		85.6	
将来負担比率		116.7		350.0					
財政力指数	0.36	0.38	0.02						
経常収支比率	91.4	93.2	1.8						

(注) 1.「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「資金不足比率」は負数(～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。

2.「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。